

～仲間とつながろう～

群馬県教職員組合(県教組)には、臨時採用教職員部があります。



- ・ひとりであれこれ悩んでいませんか？
県内各地に、親身になって相談にのってくれる仲間ができます。
- ・教育条件や労働条件で困ったことや疑問に思ったことはありませんか？
改善に向けての要請等の取り組みを行っています。
- ・県教組主催の学習会等に参加して、教職員としての力をつけませんか？

<臨時採用教職員部(臨採部)とは？>

臨時的任用の皆さんが抱える様々な課題の解決を目指して、06年度より「臨時採用組合員制度」を発足させ、今、元気に活動を展開しています。

現在、39名の臨時採用教職員が加入しています。(11年4月1日現在)

また、10年度採用の教職員のうち、4名の方が臨採部の組合員でした。

○目的

臨時採用教職員の労働条件改善と諸課題の解決にむけたとりくみを行います。

○加入資格

県内の公立学校に勤務する県費負担の臨時採用教職員です。

○組合員期間

4月から3月までの1年度を単位とします。(年度途中での加入・脱退もできます)

○組合費

月額1,000円です。(労金口座振替・郵便振込・現金のいずれかで納入します)

※できるだけ、労金口座振替で納入をお願いしています。

○組合員の特典

- ・県教組・日本教職員組合が行う各種の行事、イベント、学習会に参加できます。
- ・「臨採部」の一員として、臨採者同士の学習会や交流会に参加できます。
- ・県教組広報紙「ぐんま教育新聞」や日教組広報誌「月刊JTU」等、教育や労働に関する資料が届きます。
- ・顧問弁護士による無料法律相談が受けられます。
- ・県教組の福利事業「GTU倶楽部」が利用できます。 などなど。

※ 県教組各総支部(各地区)の行事にも参加できます。

群馬県教職員組合とは？

設立は1946年(昭和21年)で、県内に4の総支部をもち、県内の公立学校の教職員を組織対象としています。上部団体は日教組(日本教職員組合)で、労働団体としては「連合」(日本労働組合総連合:組合員数600万人)に加入しています。県関係では「群馬県職員組合連合会」(県職連:4組合)の一員として、群馬県および県教育委員会当局との交渉を行い、教育条件や労働条件の改善に努力しています。

〈2010年度のとりくみ〉

○県との交渉で「臨時採用教職員の課題」について要請しました。

- ・ 臨時的任用教職員の特別休暇（短期介護休暇）の付与を
※地公臨（欠員）及び任用期間が12ヶ月にかかる場合
- ・ 長期休業中のスクーリングを、職務専念義務免除で
- ・ 任用の際の勤務条件の説明を
※任用の際、校長から勤務条件について説明を必ずするよう指導
- ・ 扶養手当・住居手当の一部見直し



(左)総会・交流会の様子
(右)教職員ボウリング大会の様子
(臨採部員も頑張っています！)



教育研究集会Ⅱの様子

- 教育研究集会Ⅱで臨採部分科会を主催し、
日頃の悩みや課題を協議しました。
- 全国交流集会に参加しました。
- 交流会で組合員同士の親睦を深めました。